

患者さんへ ～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 酸素含量と二酸化炭素分圧の動脈相較差の同時評価による循環動態解析に関する後方視的研究』

【研究の目的】

重症の患者さんでは心臓が脳、腎臓、肝臓などの重要な臓器に酸素を送る機能が障害される状況がしばしば生じます。この機能を看視し、適切な治療を行うために肺動脈カテーテルという医療機器が用いられる場合があります。肺動脈カテーテルを使用している患者さんでは動脈と肺動脈の血液中の酸素が含まれている量の大小を評価して治療につなげていますが、二酸化炭素の量を検討することも有用だとされています。東邦大学医療センター大橋病院麻酔科では、肺動脈カテーテルによって心臓が酸素を送る機能を評価する際に酸素と二酸化炭素の両方を評価することでより適切な判断が出来るのではないかと考えて本研究を計画しました。この研究で得られる成果は、重症患者さんの治療に際して脳、肝臓、腎臓などの重要な臓器に酸素が送られているかどうかを確実に判断できることにつながります。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大橋病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

2012年5月～2018年5月までに東邦大学医療センター大橋病院麻酔科において、全身麻酔下に手術受け術後集中治療室で治療を受けた患者さんのうち肺動脈カテーテルで心機能を看視した患者さん(約400例)を対象として、診療録(カルテ)から抽出した臨床データを解析します。

今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報が外部に漏れることは一切ありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院麻酔科

職位・氏名 教授・小竹良文

電話 03-3468-1251 内線 7607